

開催日時：令和7年2月12日（水） 9時00分から11時40分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・令和7年度当初予算編成が終了した。今予算編成では2段階要求や2段階査定、事務費の枠配分を導入した。新たな取組であったが、協力いただいたことに感謝申し上げる。
- ・令和7年度当初予算は、令和6年度に引き続き過去最大の予算規模となった。必要な事業を厳選した結果であり、不用な予算を措置したものではないため、その旨を各部局でも議会でしっかり説明すること。
- ・コロナ禍以前の予算規模に比べると100億円近く増加しており、また、過去最大の予算規模が2年続いている。この状況に対する予算全体の説明は財政課で行うが、各部局においても国の動きも含めコロナ禍前と変わった点や増要因をしっかりと把握し、説明できるように準備すること。
- ・毎年過去最大の予算規模を更新しており、予算の内容を精査しなければならない時期である。新年度以降は予算規模の縮小について議論していく必要があると考えている。
- ・本日は多くの事項が予定されているが、すべて市にとって重要な事項であるため、それぞれ全体を見渡して議論をしてほしい。

<副市長>

- ・令和7年飯田市議会第1回定例会は一般質問17人に加え、委員会代表質問が1委員会予定されている。市長通告から質問まで期間が空くが、臨機応変に対応できるよう準備をすること。
- ・工事請負契約の変更に係る議案が予定されているが、大きな工事の変更であるため、どのような状況の変化があつての契約変更なのか、その理由についての理解が得られる説明となるように準備をすること。
- ・予算規模はかなり大きくなっているが、分析していくと一般財源の構造は変わっていない。国税が増え地方交付税も増えているが、それは人件費等を含めた地方行政運営に必要な財源が増えているためであり、余裕のある財源が増えているわけではなく、特定財源を含めた予算規模が大きくなっている状況がある。部局ごとの状況を分析する必要がある。また、物価高騰などが実際に飯田市の予算執行にどのような影響があるのかを整理しないと、予算規模の問題も整理できないと考えている。これから協議をしていくので、協力をお願いする。

<教育長>

- ・学校の黒板は右利きの人が板書をする際に光が当たるようにできている。一方で、学校を見て回ると、昔は右利きの児童生徒が多かったが、現在は左利きも多い。家庭において右手で字が書けるように指導することなく、入学する家庭が多くなっている。しかしながら、時代は変わってきているが世の中の意識はなかなか変わらない状況があると感じる。
- ・地域の皆さんや保護者は自分たちが教わってきた価値観で今の教育を見ると、その意義について理解できなかったり否定的に見えてしまったりする状況があり、理解してもらうのには時間がかかる。しっかりと周知しなければいけないと考えている。
- ・本日の部長会議では教育委員会から様々な計画が報告されるが、キーワードは「ムトスの学び」であり、学校教育の分野も生涯学習の分野も、本当の意味で一人一人が主体的に学べる環境を作っていきたいと考えている。ご意見をいただけるとありがたい。

2 協議事項

(1) 組織機構の変更について

◇趣旨

- ・組織機構の変更について協議する。

◇意見

(企画部長)

- ・令和10年に開催されるスポーツ大会の推進室を令和7年度から設置する意図はなにか。

(教育次長)

- ・他自治体の準備状況を見ると、多くの自治体が3年前から組織を立ち上げ準備している。令和7年度は県等との調整が主な業務になり、令和8年度から本格的な準備に入っていく予定であるため令和7年度から設置する。なお、当市は弓道競技の会場となる予定である。

(市長)

- ・長野県には専門の組織があるのか。

(教育次長)

- ・現在、長野県観光スポーツ部に国スポ・全障スポ準備課が立ち上がっており、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会を立ち上げて準備を進めている。

(企画部長)

- ・教育委員会事務局の主管課はどこになるのか。

(教育次長)

- ・教育政策課である。

◇協議結果

- ・提案の通り了承する。

(2) 飯田市における水素利活用の推進について

◇趣旨

- ・飯田市における水素利活用の推進について協議する。

◇意見

(総務部長)

- ・時間軸はどうか。

(企画部長)

- ・令和7年に水素パネルを設置し、令和8年から実際に水素が発生する。その後は、信州大学も国の補助金等を活用しているため、5年から10年程度かけて成果を出していく期間となる。また、ゼロカーボンシティの推進という視点で2030年や2050年の時期も意識しながら、信州大学の研究がステップアップしていくタイミングごとにどのような取組が必要か議論していき、段階的に取組を進めていきたい。

(議会事務局長)

- ・議会に対する説明は予定されているか。

(企画部長)

- ・当初予算計上されている部分もあるためその部分は説明があるが、本日、体制が固まれば説明するよう調整したい。

(議会議務局長)

- ・予算の説明では個別の内容になってしまうため、全体像を説明する機会があった方がよい。

(建設部長)

- ・「まちの姿」というのは、水素を利活用したまちの姿ということか。どのようなものをイメージしているのか。

(企画部長)

- ・水素を利活用する水素社会をイメージできるものを想定している。まちの設計図とも関連するため整合を図っていききたい。

(市長)

- ・水素の活用は、日本においては外から持ってきて大規模に展開できる沿岸部が中心であったため、当市の脱炭素の取組としては距離を置いていたことがある。
- ・信州大学堂免教授の研究している技術は、水と太陽光から水素を発生させるものであり、どの地域でも実現できる技術である。また、山梨で行っている水を電気分解させて水素を取り出す技術はコストダウンの限界がある中で、堂免教授の技術はコストの壁を突破できる可能性がある技術であり、当市で実証研究していくことを決定した。このため、市としてもエネルギーの地産地消に水素も加えて取り組んでいくというものである。
- ・山梨ではすでに内陸部での取組として動いているため、連携の可能性もあると考えている。
- ・令和8年度から水素が発生してくる見込みのため、まずは、発生してくる量に対する水素の利活用プランの作成を急がなければならない。その後については、信州大学の研究は国の補助が5年刻みで10年間の研究期間がある見込みであり、研究の進捗に合わせて取組も検討していく。
- ・市の体制については、当面は4部にまたがる体制で検討していくが、例えば市内福祉施設の熱源に活用するなど全庁的な取組となってくることも考えられるため、推進体制についても見直ししながら進めていきたい。

◇協議結果

- ・提案の通り了承する。

(3) 「いいだ未来デザイン2028 2025（令和7）年度戦略計画」等について

◇趣旨

- ・「いいだ未来デザイン2028 2025（令和7）年度戦略計画」等について協議する。

◇意見

(教育次長)

- ・中期計画基本目標の行政評価のうち、「評価できない」とされた項目について、既に意見交換して委員会の中では理解していただいている部分もあるが、改めて説明が必要か。

(企画課長)

- ・今回初めて文章として提出するため、改めて説明が必要である。

(企画部長)

- ・指標の目標値の設定については、質問に対応できるよう説明の準備をお願いする。

◇協議結果

- ・提案の通り了承する。

3 報告事項

(1) 令和7年度当初予算発表資料について

◇趣旨

- ・令和7年度当初予算発表資料について報告する。

◇意見

(教育次長)

- ・総括の頁に「学園構想」に係る内容を追記することは可能か。

(財政課長)

- ・調整させていただく。

(2) 令和6年度一般会計補正予算（第7号）について

◇趣旨

- ・令和6年度一般会計補正予算（第7号）について報告する。

(3) 令和5年度飯田市財務諸表の公表について

◇趣旨

- ・令和5年度飯田市財務諸表の公表について報告する。

◇意見

(総務部長)

- ・財務諸表の分析によると類似団体と比べても問題がないようにも見えるが、基本的には現在の状況が良いという認識はない。
- ・各部局長が中心となり事業の戦略的整理が必要である。各部局の業務の中には10年以上見直しのされていない事業もあり、少なくとも3年に1度は見直しをされたい。
- ・人件費が増大する傾向にあり、会計年度任用職員の登用の仕方、働き方、配置の見直しをお願いする。一部の職員のみでなく全職員の労働時間を減らしてコストの整理ができるよう、部局長を中心に全職員のマンパワーの見直しと働いてもらい方改革をすること。
- ・年度末に向けての予算執行にあたり、安易な予算消化は厳に控えること。効率的、効果的な予算執行をし、みんなで助け合う中でホワイトな職場を守るようお願いする。

(4) 2024年中の毎月人口異動調査に基づく当市の人口動態について

◇趣旨

- ・2024年中の毎月人口異動調査に基づく当市の人口動態について報告する。

◇意見

(企画部長)

- ・各部局の分野別計画において、数値を引用しているものもある。本資料を参考にして対応すること。

(5) 第3期飯田市地域福祉計画・飯田市地域福祉活動計画（案）について

◇趣旨

- ・第3期飯田市地域福祉計画・飯田市地域福祉活動計画（案）について報告する。

(6) 飯田都市計画地区計画（川路地区計画）の変更等について

◇趣旨

- ・飯田都市計画地区計画（川路地区計画）の変更等について報告する。

(7) 第2次飯田市教育振興基本計画後期の取組（案）について

◇趣旨

- ・第2次飯田市教育振興基本計画後期の取組（案）について報告する。

(8) 飯田市スポーツ推進計画【第3次】（案）について

◇趣旨

- ・飯田市スポーツ推進計画【第3次】（案）について報告する。

(9) 学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた推進計画（案）について

◇趣旨

- ・学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた推進計画（案）について報告する。

(10) 飯田市歴史研究所第6期中期計画（案）について

◇趣旨

- ・飯田市歴史研究所第6期中期計画（案）について報告する。

(11) 第5次飯田市立図書館サービス計画（案）について

◇趣旨

- ・第5次飯田市立図書館サービス計画（案）について報告する。

(12) 飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン 後期計画（案）について

◇趣旨

- ・飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン 後期計画（案）について報告する。

4 その他、連絡事項

(1) 身寄りのない方の最後を支えるためにどうしたら良いか

(副市長)

- ・事案の把握をするために、年度内に福祉部から各部局へ調査を依頼する。また、来年度は関係部局による検討会議を立ち上げ、検討したいと考えている。協力をお願いする。

5 閉 会